

名古屋市・メキシコシティ姉妹都市提携 45 周年 メキシコ写真展の開催

JICA 中部が運営するなごや地球ひろばでは、パネル展「iMéxico dramático! メキシコに出会う」を開催いたします。日本とメキシコは、400 年を超える交流の歴史を持つとても近い国。そして名古屋市とメキシコシティは 1978 年 2 月に姉妹都市提携し、2023 年 2 月に 45 周年を迎えます。

JICA は、1973 年にメキシコ事務所を開設して以来、メキシコのパートナーとして共に課題解決に向けた協力を行ってきました。これまでにメキシコから来日した研修員は 7,500 名、日本からメキシコへ渡った専門家や JICA 海外協力隊は 3,000 名を超えるなど、国際協力を通して友好関係を築いてきました。

本パネル展では、JICA が中部地域と協力してメキシコで実施する国際協力の様子や、映画で有名になった「死者の日」、カラフルに彩られる街並みなど、約 50 点の写真を通じてメキシコをご紹介します。是非ご来館いただき、ご取材・情報掲載のほどお願いいたします。

【取材可能期間：開催期間中(2022/12/21～2023/4/23)】

展示内容例



写真提供:名古屋市上下水道局

写真提供:名古屋市上下水道局

【写真 左】日本とメキシコはこれまで大きな地震に見舞われる度、緊急援助物資供与等、お互いに迅速な支援を行ってきました。2017 年のメキシコ地震では、日本政府は国際緊急援助隊救助チームを派遣。隊員たちは現地の方々に温かく受け入れていただきました。

【写真 中央・右】名古屋市上下水道局は、JICA の草の根技術協力事業を通し、メキシコ市上下水道局の震災対策強化をサポートしています。2022 年 10 月にメキシコ市上下水道局およびリスク統合市民保護局の職員が来日し、応急給水センターや水道施設の耐震化工事現場、防災訓練の視察などを通して、上下水道関連の災害対策を学びました。メキシコ市職員は学んだことを持ち帰り、地震に強い国造りを目指していきます。



【写真 左】「死者の日」は亡くなった人の魂が戻ってくるとても大切な日。派手なメイク・衣装に身を包み明るく死者を迎えます。

【写真 右】メキシコには地域ごとに伝統舞踊があり、それぞれ異なった衣装で華やかな個性が輝きます。

パネル展 写真提供:IF の会(アイエフの会/International Families Association)、

ONODA 株式会社(愛知県豊橋市)、名古屋市上下水道局、JICA 研修員

また、展示と連動したイベントとして2月11日(土)に、メキシコの文化体験ができるイベントを開催します。

(参加費:飲食費として500円/事前申込制)

SDGs と国際協力を学ぶ 基本展「SDGs—未来につながる17の約束—」を同時開催します！

中川運河を渡って世界から届いた積荷Mission Box。その一つひとつには世界が抱えるさまざまな課題が詰め込まれており、世界の「今」とSDGsを達成するための世界やJICAの取り組みを展示しています。Mission Boxを開けて、見て、さわって、体験し、SDGs達成に向けて私たち一人ひとりにできることを考えることができます。

※現在、新型コロナウイルス感染防止のため、触れるアイテムなど一部展示を撤去しています。

【展示概要】

展示期間：2022年12月21日(水)～2023年4月23日(日) 入場無料 開館時間：10:00-17:00

休館日：月曜日(月曜日が祝日の場合は開館、翌平日が休館)、年末年始(12月29日から1月3日)

3月4日は設備点検のため臨時休館(荒天の場合は3月11日が休館)

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 中部 市民参加協力課 吉田・秋山

TEL：052-533-0220(代表) e-mail：cbictpp@jica.go.jp